

平成23年8月31日発行

ISSN 1344-5154

静岡県 図書館協会 会報 No.60



編集・発行 静岡県図書館協会

静岡市駿河区谷田53番1号

静岡県立中央図書館内

県立中央図書館の役割

静岡県図書館協会会長 谷野純夫
静岡県立中央図書館長

現代社会が高齢化・高度情報化の波にさらされる中、図書館もまた同様の波に洗われ進化してきました。生涯学習の拠点として、すべての人々の自主的な学習を支援する施設として、資料や場所を提供するとともに、レファレンス・講演会・ブックトーク・読み聞かせ・展示などにより、教育的機能や交流を推進する役割も果たすなど、その進化の過程は、深化ではなく多機能化にあるように思われます。一方で、インターネットをはじめとするメディアの広がりにより、「知の集積庫」としての図書館の地位が相対的に低下していることも否めません。

昨年度は、電子書籍元年と言われ、出版社や書店、印刷、流通など多くの企業が電子書籍事業への参入を発表しました。多くの電子書籍端末の発売や電子書籍のシェアの拡大が注目される中、今年度になって、アメリカでは電子書籍がプリント版書籍を販売数で上回ったというニュースも流れました。

一方、全国の大学附属図書館では、ラーニングコモンズ化の推進により、教育的機能や交流の場を新機軸に、新しい図書館のあり方に活路を見出しています。反面、研究に関する資料は、即時性を求められるため印刷物でなく、電子ジャーナルが中心となり、書籍の利用は伸び悩み、ネットのログイン数が増大する傾向にあります。

今、「集積庫」から分散化した「知」をどう結びつけるかといった情報や物の流通（ネットワーク）が重要になっています。図書館の方向性もまた同様であり、

本館同士あるいは本館と分館をネットワーク化し、どこでも同様のサービスが受けられるように整備されてきています。

このような状況の中、県立中央図書館は、住民に対する直接サービスの第一線に立つ市町図書館を支援することに重点を置いています。県内最大の総合図書館としてフラッグシップ的な役割を果たすため、図書館職員研修の開催、市町図書館への協力貸出、相互貸借の推進、レファレンスサービスへの支援、資料保存センター、県全体の図書館振興の基盤の形成のための支援などその活動は多岐に渡ります。いずれも、バックステージで県全体を支える業務であり、図書館の図書館としての機能（第二線図書館）として位置づけています。

一方で、当館が市町図書館と同様に、地域住民（県民を含めて）への直接サービスもその使命としていることを忘れてはなりません。「県立図書館は、市町図書館への支援を通してのみ、設置の趣旨にかなうサービスができる」という姿勢から一歩進めて、直接サービスにおいても市町図書館のモデルとなるような図書館でありたいと考えています。

利用者中心主義を基本コンセプトに、市町図書館を始めとする各図書館との連携をいっそう大切にしていきたいと考えています。ともに切磋琢磨して歩んでいきたいと思います。



谷野純夫館長

平成23年度総会報告

平成23年度の静岡県図書館協会総会が、4月15日に静岡県立中央図書館で開催され、下記の5つの議案が承認されました。

- 第1号議案 平成22年度 事業報告の件
- 第2号議案 平成22年度 決算報告・会計監査報告の件
- 第3号議案 平成23年度 事業計画の件
- 第4号議案 平成23年度 予算の件
- 第5号議案 順天堂大学保健看護学部の静岡県図書館協会への加盟申請について

<平成23年度静岡県図書館協会役員>

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 理 事 会 長 | 谷 野 純 夫 | (静岡県立中央図書館) |
| 副会長 | 内 藤 春 好 | (浜松市立中央図書館) |
| 副会長 | 土 屋 美 夫 | (沼津市立図書館) |
| | 岩 田 道 彦 | (三島市立図書館) |
| | 松 本 泰 典 | (静岡市立中央図書館) |
| | 成 岡 均 | (藤枝市立駅南図書館) |
| | 石 黒 教 雄 | (袋井市立袋井図書館) |
| | 浅 井 勝 巳 | (吉田町立図書館) |
| | 加 藤 憲 二 | (静岡大学附属図書館) |
| 監 事 | 水 野 隆 史 | (焼津市立焼津図書館) |
| | 野 川 勝 美 | (御前崎市立図書館) |

※加盟館名簿順

<平成23年度事業計画>

会議・大会

- 理事会 第1回(4/15) 第2回(9月初旬・文書による決裁) 第3回(2/17)
- 総会兼館長会(4/15)

相互貸借担当者会議(4/22)

静岡県図書館大会(10/24)

研修・視察

- 図書館基礎研修(5/12)
- レファレンス基礎研修(5/19・5/25・6/1・6/8)
- 児童・青少年サービス研修(6/16)
- 大学・専門図書館研修(7/7)
- 図書館運営研修(10/5)
- レファレンス応用研修(11/2, 予備 11/10)
- 県外視察(11/9)

出 版

『職員名簿』・『県図協会報 No.60』・『県図協会報 No.61』・『静岡県図書館大会記録集』

専門委員会

- 資料専門委員会 年4回開催
- 図書館大会運営委員会 年5回開催

<平成23年度予算>

収入総額並びに支出総額3,535,000円の本年度予算が承認されました。

<新設図書館・新規加入館>

- 1 新設図書館
 - ・浜松市立流通元町図書館(H23 1/6 開館)
- 2 新規加入館
 - ・順天堂大学保健看護学部図書館

第19回 静岡県図書館大会 ～伝えよう図書館の力 広げよう新たな可能性～

- 日 時 10月24日(月) 9:50～15:45
- 会 場 グランシップ(静岡市駿河区池田)
- 日 程 9:50～10:30 開会式・表彰式
- 10:30～10:50 情勢報告
- 11:00～12:30 ライブトーク
「災害と図書館
～その時、求められる図書館サービス～」
コーディネーター 西村 彩枝子 氏
- パネリスト 稲 森 雅 夫 氏
<日本図書館協会 常務理事>
松 永 憲 明 氏
<岩手県立図書館 副館長>
<神戸市立中央図書館 主幹>
- 13:45～15:45 分科会

- 第1分科会(図書館サービス)
 - 第2分科会(乳幼児・児童・YAに対するサービス)
 - 第3分科会(子どもと読書)
 - 第4分科会(図書館資料)
 - 第5分科会(読書会)
 - 第6分科会(学校図書館)
 - 第7分科会(大学図書館)
- 問い合わせ先 静岡県立中央図書館 企画振興課振興係
TEL 054-262-1246
- ※参加費は無料です。
- ※各分科会への申込には、定員があります。
- 申込締切日 9月30日(金) ただし、第3分科会(奥本大三郎氏講演会)は10月14日(金)

子ども読書活動で

島田市立島田図書館と熱海読み聞かせの会の 文部科学大臣表彰が決まりました

文部科学省では、毎年、子どもの読書意欲を高める活動において優れた実践を行っている図書館・団体（個人）に対し、文部科学大臣表彰を行っています。静岡県からは、図書館の部では島田市立島田図書館の受賞が決まりました。また、団体（個人）の部では熱海読み聞かせの会の受賞が決まりました。

すべての子どもたちを楽しいお話の世界へ 島田市立島田図書館

島田市立島田図書館では、“読書の習慣づくりには幼少時期にお話の楽しさを体験することが大切である”という考えのもと、平成19年3月に策定された「島田市子ども読書活動推進計画」に沿って、さまざまな事業を展開しています。

平成16年10月から7カ月健康相談時に実施する「ブックスタート事業」、平成21年5月から3歳児検診時に実施する「キッズブック事業」を行い、対象の子どもを持つご家庭に絵本をプレゼントし、子どもたちが大人と一緒に絵本の世界を楽しむことの大切さを伝えています。

また、平成22年度から「おはなし宅配便事業」を行い、市内の幼稚園・保育園に図書館職員が出向いてお話会を行っています。さらに秋の読書週間には市内の読み聞かせサークルと図書館職員がお話会を行う「おはなしマラソン」を開催しています。

小学生には、「図書館からの招待状」（2年生対象）を配布したり、「夏休み小学生一日体験図書館員」（4～6年生対象）を行ったりして、図書館に親しみを持っ

いただき、図書館利用につなげていくようPRしています。

図書館内で来館を待つのではなく、図書館から行動を起こし事業を行っていくことで、1人でも多くの子どもたちが、お話の楽しさに触れることができるよう取り組んでいます。

（島田市立島田図書館 主事 横山 佳世）



島田市立島田図書館 おはなし宅配便

子どもたちと楽しむお話の世界 熱海読み聞かせの会

平成8年に市立図書館で、同じ地区の仲間たちと読み聞かせボランティアを始めました。年に一度のお話会スペシャルでは、工作も用意し大勢の親子に楽しんでもらっています。今はわが子たちが通った多賀小学校や、幼稚園、老人施設での読み聞かせ、ブックスタートの手伝いなどに活動の幅を広げています。講師を招いての勉強会も今年で13回を数えました。市内各小学校の読み聞かせボランティアに声をかけて立ち上げた熱海読み聞かせ連絡会では、2年前「朝読書のための絵本リスト」を作成しました。小学校で読み聞かせを始めた人たちの本選びの参考になればと願っています。去年は読み聞かせボランティアを増やしたいと初心者講座も開きました。仲間たちは仕事の都合をつけながら無理のない範囲でボランティアをしています。

す。「何より実践！」を心がけ、これからも子どもたちとお話の世界を楽しんで活動を続けたいと思っています。

（熱海読み聞かせの会 諏訪村 京子）



熱海読み聞かせの会 おはなし会スペシャル

新規加入館紹介

順天堂大学保健看護学部図書館

平成22年4月1日、順天堂大学保健看護学部は、医学部・スポーツ健康科学部・医療看護学部次ぐ四番目の学部として、JR三島駅から徒歩数分の便利で恵まれた環境の場所に新設されました。本学部は、保健・医療・福祉など様々な分野の教育を通して、地域の人々に貢献できる看護職者を養成するための教育を実施しております。



順天堂大学 保健看護学部図書館

保健看護学部開設と同時に図書館もオープンいたしました。この図書館は学部内で最も景観の良い場所で、明るく開放的な図書館として学生の評判も上々であります。蔵書数は、まだまだ少ないのが現状ではありますが、順天堂大学全体として電子ジャーナル・蔵書等の相互利用が可能であり、学生・医療職者の必要とする書籍を計画的に増やしていく予定です。更に、教育・研究の拠点に相応しい充実した図書館を目指し、地域開放も視野に入れ、多くの皆様のニーズに応えられる図書館へと成長できるよう努力してまいりたいと思います。

(順天堂大学 保健看護学部図書館 館長 山口 明子)

〈施設の概要〉

所在地：〒411-8787 三島市大宮町3丁目7番33号

電話 055-991-3120、FAX 055-991-0050

(図書館直通)

開館時間：月曜～金曜日 9:00～19:00

土曜日 9:00～13:00

休館日：日曜日・第二土曜日

図書館床面積：約 374 m² 蔵書能力：約 45,000 冊

職員研修報告 (公立図書館等職員研修)

※平成23年8月現在 (上半期)

例年、県内図書館職員の、専門的資質・能力の向上を図るとともに、県内図書館サービスの向上・発展を目指し、研修を実施しています。特に、大学・専門図書館研修では、参加者それぞれの立場から学習支援の方策について意見を出し合って効果的にまとめる場が設定され、好評を博しました。

(1) 基礎研修

ア 基礎研修 (基礎理論・実務)

期日/会場	平成23年5月12日(木) / 静岡県立中央図書館			
参加人数	104人			
内 容	・「図書館職員の基礎知識」 ・「図書館サービスと著作権」 ・「接遇とコミュニケーションを円滑にする自己表現」	静岡県立中央図書館 静岡県立中央図書館 株式会社あもに	企画振興課長 調査課一般調査係 代表取締役	野 島 典 子 高 橋 健 二 大 野 晴 己 氏

イ レファレンス研修 (基礎)

期日/会場	平成23年5月19日(木) / 25日(水)	平成23年6月1日(水)	平成23年6月8日(水)
会 場	静岡県立中央図書館	三島市立図書館 (生涯学習センター)	静岡県総合教育センター
【地 区】	【中部地区】	【東部地区】	【西部地区】
参加人数	16人 / 32人	29人	29人
内 容	・「初級レファレンス」 静岡県立中央図書館 調査課 一般調査係 (佐 藤 れい子、山 田 直 美、高 橋 健 二)		

(2) 専門研修

ア 児童・青少年サービス研修

期日/会場	平成23年6月16日(木) / 静岡県立中央図書館		
参加人数	64人		
内 容	・「昔話とその語り口」イギリスの昔話を題材に ・「子どもと昔話」	フェリス学院大学教授 白百合女子大学 非常勤講師	藤 本 朝 己 氏 藤 井 いづみ 氏

イ 大学・専門図書館研修

期日/会場	平成23年7月7日(木) / 静岡大学附属図書館			
参加人数	31人			
内 容	・「学習力を高めるために、図書館ができること」 ・「静岡大学附属図書館の取り組み」	東北大学附属図書館 静岡大学附属図書館	総務課長 館長 主査 主査	米 澤 誠 氏 加 藤 憲 二 氏 渡 邊 貴 子 氏 高 橋 里 江 氏